

# シーケンス動作設定ソフトウェア

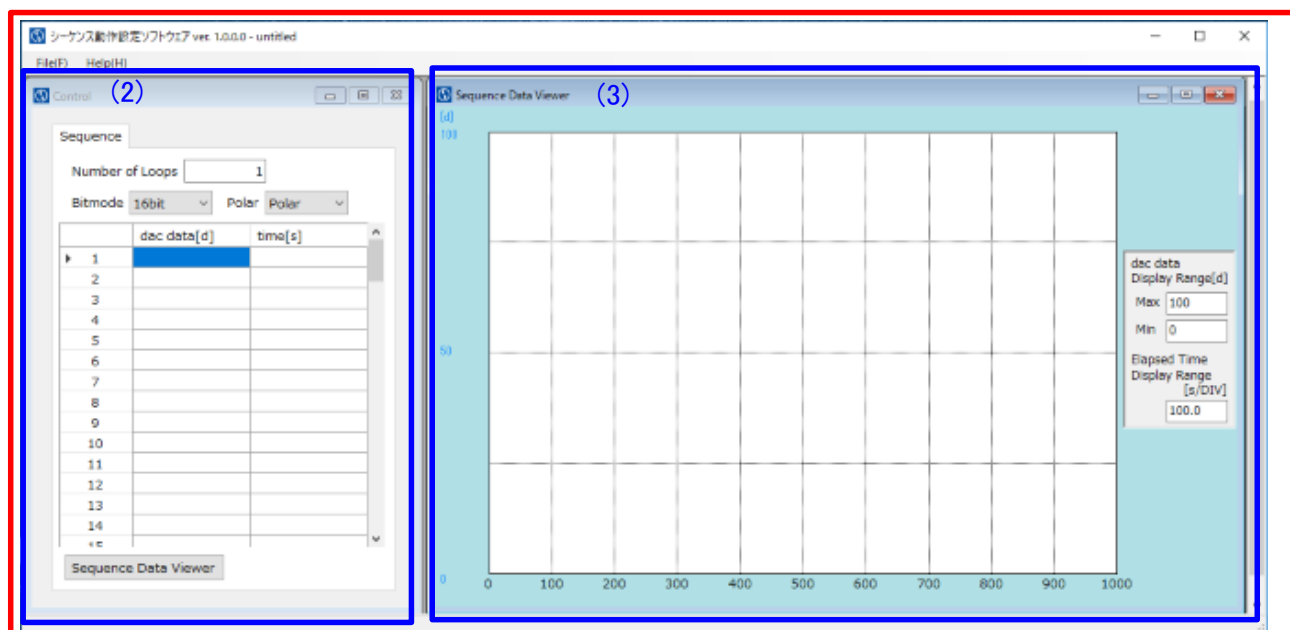
## 取扱説明書

### 目次

操作画面 .....	1
シーケンス動作設定データ作成方法 .....	2
データ設定範囲 .....	4

## 操作画面

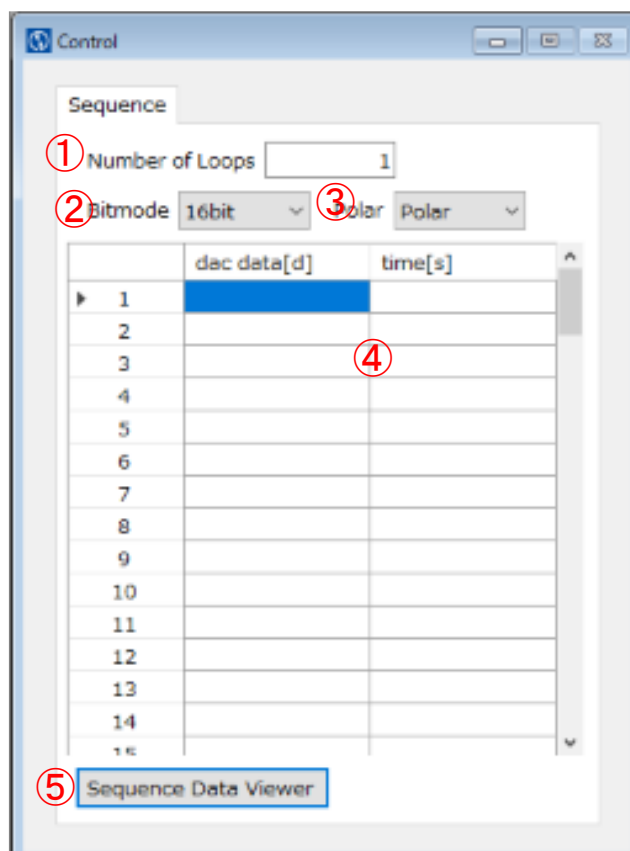
(1)



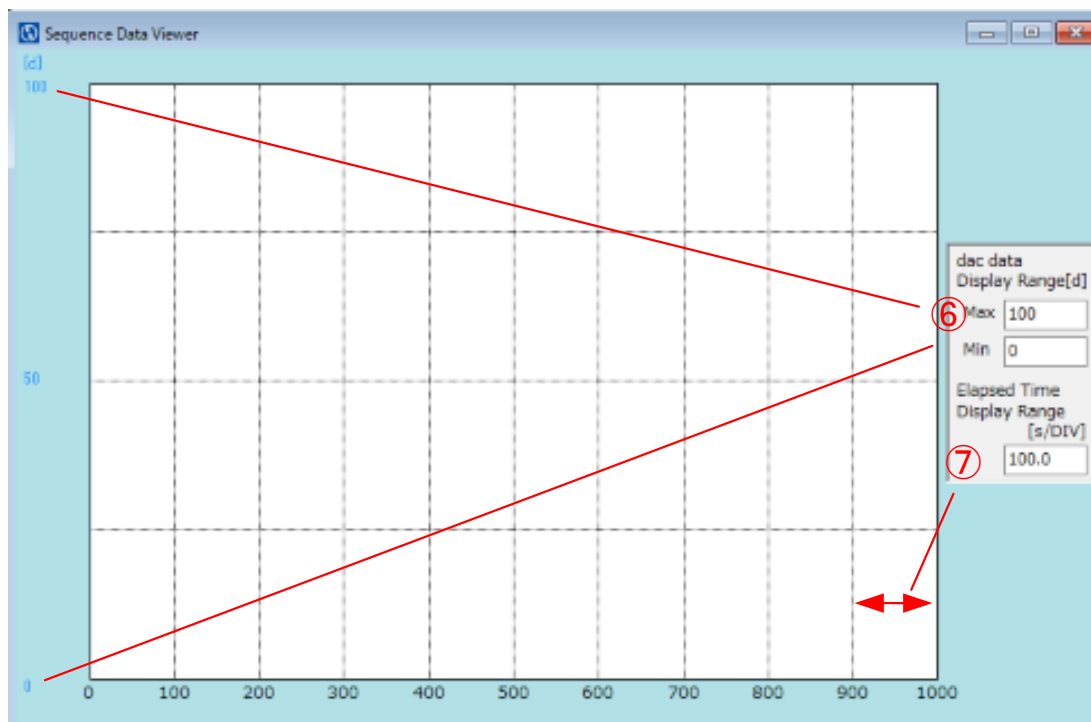
本ソフトウェアは下記の 3 つのウィンドウで構成されます。

- (1) 全体ウィンドウ
- (2) コントロールウィンドウ
- (3) シーケンスデータビューワーウィンドウ

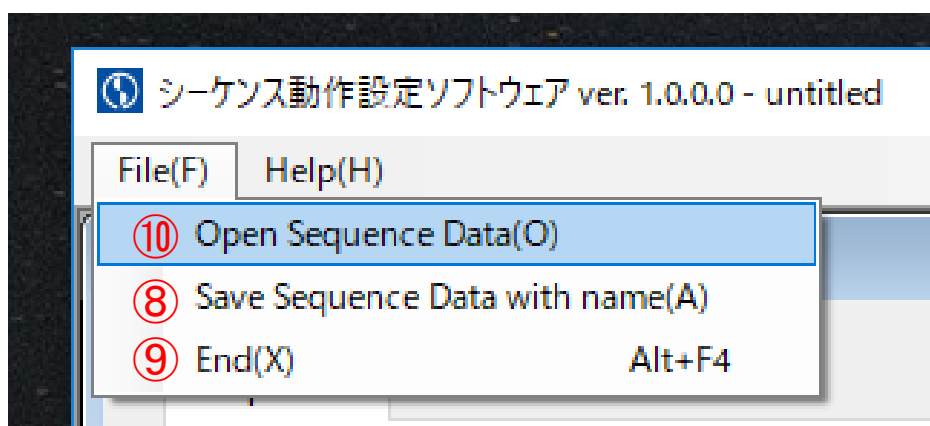
## シーケンス動作設定データ作成方法



- ① ループ回数を設定します。(設定範囲:0~9999)  
0を入力すると無限ループとなります。
- ② ビットモードを選択します。(16bit/12bit/8bit)
- ③ 極性の有無を選択します。(Polar(極性あり)/NonPolar(極性なし))
- ④ DAC データおよび時間を入力します。
- ⑤ シーケンスデータビューワーウィンドウを表示します。  
現在のデータをグラフで確認することが出来ます。



- ⑥ 縦軸 (DAC データ) 最大値および最小値を設定します。
- ⑦ 1DIV 辺りの時間を設定します。



- ⑧ 作成したデータを名前を付けて保存します。  
ファイルの拡張子は\*\*\*.csv となります。
- ⑨ 本ソフトウェアを終了します。  
右上の×ボタンまたは Alt+F4 キーでも同様です。
- ⑩ 本ソフトウェアで作成した csv ファイルを開くことで、続きから編集することが可能です。

データ設定範囲

・time[s]:0.001~9999.999

・dac data[d]

① Polar (極性あり) 設定時

16bit		12bit		8bit	
設定値	出力	設定値	出力	設定値	出力
32000	+FS	2000	+FS	255	+FS
0	0	0	0	0	0
-32000	-FS	-2000	-FS		

② NonPolar (極性なし) 設定時

16bit		12bit	
設定値	出力	設定値	出力
65535	MAX	4095	MAX
64768	+FS	4048	+FS
32768	0	2048	0
768	-FS	48	-FS
0	MIN	0	MIN

※8bit mode は Polar (極性あり) 設定時のみ選択可能です。



〒213-8558

神奈川県川崎市高津区溝口 1-24-16

シーケンス動作設定ソフトウェア取扱説明書 2020年9月 Rev1.0 DOC-2053